

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 141

エントリー学校名： 佐賀大学教育学部附属中学校
活動名： 部活動指導員制度の導入 えっ！できるの？⇒できました！
解決すべき課題： 本校では、働き方改革関連法案の施行に伴い、教員の働き方の見直しに着手し、勤務時間の適正化を目指し、働き方に対する意識改革、日々の業務の見直し、行事の精選等を行ってきた。今後も本校の使命を達成し、教育の質を上げていくために、働き方改革をさらに進めて行かなければいけない。そのためには、部活動の在り方を抜本的に見直す必要がある。
目標・方針： 全部活動において、部活動指導員を導入し、土日祝休日の部活動を部活動指導員による指導（平日は教員）で行う新体制をつくる。 ① 教職員の勤務時間の適正化を図る。 ② 教職員の日々の生活の質や人生を豊かにすることで、子どもたちに効果的な教育活動を行うことができる。
活動内容： ① 学校における働き方改革の目的の共通理解・課題の共有・ワーキングチームの立ち上げ ② 部活動の在り方に向けた大学・育友会との協議（部活動指導員導入・経費・新体制づくり等） ③ 募集要項説明会、新入生説明会、入学式、育友会総会において、学校の働き方改革に関する説明会 ④ 各部活動代表者へ、今後の部活動の在り方（新体制）についての説明会（2回） ⑤ 部活動代表者による各部への伝達（保護者会の実施による説明） ⑥ 部活動の新体制について、生徒への説明 ⑦ 部活動指導員研修会（事前指導研修会）
活動の成果： 【生徒】 ・専門者による技術指導 ⇒ 技術の向上、練習メニューの増加による意欲の向上 ・土日祝休日の練習時間の確保（「部活動の在り方に関する方針」の遵守） ⇒ 技術・体力の向上、バランスの取れた心身の成長、プライベートの充実 【教職員】 ・超過勤務の削減 ⇒ 有効な時間の活用（プライベートの充実） ・部活動指導員による専門的技術指導 ⇒ 部活動指導の負担軽減
アピールポイント（アイデアや工夫）： ・「意識改革」 0 から 1 を生み出す発想を！ ・大学、育友会、各部活動との連携 ・部活動指導員制度導入に向けた体制作り

部活動指導員制度導入までの流れ

①教員の働き方の見直し

教職員による働き方改革に伴う課題の共有
 大学・育友会役員との協議
 ワーキングチームの立ち上げ
 部活動指導員の導入検討

②生徒・保護者への理解

育友会役員への説明・相談・協議
 入学式・育友会総会で保護者への説明
 各部活動保護者代表者への説明（2回）
 入学説明会参加者への説明・文書配布
 部活動生徒・保護者への説明
 各部活動ごとの保護者会開催（数回）

③体制づくり

大学・育友会役員・保護者との連携・相談
 部活動指導員採用に伴う費用の準備（保護者）
 部活動指導員の確保
 部活動指導員への事前研修会
 セキュリティーの整備

④R2. 8月新体制スタート

全部活動における、部活動指導員導入完了

部活動指導員制度導入後の職員の勤務時間の変化

令和元年度佐賀大学附属中学校職員
 の土日祝休日間部活動指導時間

一人当たり平均 **245.7 時間**

新体制スタート後

0 時間

【部活動指導員制度導入後の職員の声】

- 慣れるまで戸惑いはあったが、土日の休養、家庭のことに使える時間が増えた。（30代女性職員）
- 専門の先生に指導を受けるようになり、練習が今まで以上に充実してきた。（40代男性職員）
- 部活動指導員、保護者会、職員の連絡を、今まで以上にこまめにとる必要がある。（30代男性職員）

今後、さらによりよい制度にしていくために

- アンケート結果から、各部の課題の把握、課題の共有、解決に向けての話し合い ⇒ **研修会の実施**
- 部活動指導員・経費の確保、セキュリティ対策の改善 ⇒ **大学、育友会、各部保護者会と相談**
- 職員の働き方に対する意識改革 ⇒ **「意識改革」 0 から 1 を生み出す発想を！**
- 学校全体の働き方改革の推進 ⇒ **日々の業務の精選、行事の見直し、プロジェクトチームの立ち上げ**